

お得意様 各位

2022年9月吉日  
千葉西部生コンクリート協同組合

### 生コンクリート価格スライド表改定概要・2022年度版

拝啓 時下益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より組合活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

価格スライド表の改定の内容は以下のとおりとなりますので宜しくお願い申し上げます。

1. 単位水量指定による AE 減水剤と高性能 AE 減水剤の適用区分表にスランプ 12cm を追加し、水中コンクリート指定の場合は単位水量 200kg/m<sup>3</sup>の適用区分としますが単位水量の指定が無い場合は 33-21 配合も AE 減水剤適用区分とします。  
(スライド表 1P)
2. 基本価格体系の AE 減水剤使用コンクリートから呼び強度 18 未満のスライド価格、中庸熱セメント使用は 21 未満を除きました。又各種セメント種類による材齢 56 日スライド価格は材齢 28 日スライド価格表、下部に▲○○円/m<sup>3</sup>と表記しました。(2P)
3. 水セメント比及び単位セメント量指定の場合の換算呼び強度について組合員工場の標準配合調査及び JISA5308、建築学会、土木学会規定、他を参考に見直しを行いました。(3,4P)
4. 高性能 AE 減水剤使用スランプ配合に呼び強度 51,54,57 のスライド価格を追加し、フロー配合と同じにして、スライド価格を 3N 単位としました。(4P)
5. 人工軽量コンクリート、単位を JISA5308 に合わせ、スランプによる価格差はありません。又気乾単位容積質量 1650、1550 のスライド価格は協同組合へお問い合わせ下さい。(6P)
6. エアーモルタルは検討事項が多いので、協同組合へお問い合わせ下さい。又舗装コンクリートも実績が少ないので曲げ 4.5 のみにしました。(6P)
7. その他のコンクリートに関する割増料金は特殊コンクリートの生産負担が大きいため、割増料金を見直しました。(2)運搬車限定の 1)補強材料等投入コンクリート及び (3)収縮低減剤等投入コンクリートは高速攪拌を含む割増料金です。(7P)
8. 改定実施日: 2022 年 10 月 1 日引合い受付分より適用となります。

敬具